

長野県伊那北高等学校創立100周年記念事業の概要

事業	事業の内容<担当委員会/委員長>	実施日/会場	備考
募金事業	募金活動 <募金委員会/飯沼晃二委員長>		*平成30年11月9日の支会長会で配付した趣意書に募金要項(募金目標額:7000万円、募金期間:2019年2月1日～2020年4月30日、募金額:一般寄付1口1万円)を掲載して募金活動を開始。一般寄付・篤志寄付・特別寄付を合わせて、目標額を大幅に上回る102,492,140円の募金が寄せられた。
教育支援事業	伊那北高等学校教育活動振興基金創設 <総務委員会/清水純一委員長> 学校の教育活動(備品等)支援 <事業委員会/林昇委員長>		*令和4年9月30日現在の残額46,914,745円を基金として積み立て、教育活動を振興するための財源とする。 *学校が必要とする備品を支援。これまでにポータブルステージ、ハイエースワゴン、学校ホームページ制作費、高機能印刷機等を購入。
教育環境整備事業	伊那郷ヶ丘会館改修 <事業委員会/林昇委員長>		* (株)環境計画と設計・管理業務委託契約、(株)アートボックスと工事請負契約を締結。平成31年2月5日改修工事竣工。
記録事業	『創立100周年記念 会員名簿』 <名簿委員会/高見親久委員長> 『たぐぐへて行かむ 長野県伊那北高等学校百年史』 <100年史編纂委員会/山口通之委員長> 『郷ヶ丘百年譜 たぐへて行かむ』 <100年史編纂委員会/河野恒副委員長>		* (株)カラトと委託契約締結。平成30年10月10日刊行。発行部数3324冊、売価4,200円。同年12月に趣意書を発送する前に会員情報を更新。記念事業を支える基盤となった。 *平成25年1月編纂委員会発足(編纂委員は最終的に44名)。(株)ぎょうせいと印刷製本契約締結。令和元年9月出版開始、5回の校正作業を経て令和3年9月1日刊行。総ページ780頁、発行部数1000冊。4,100円で頒布。 *映像で綴る本校の歴史。平成30年4月の入学式から撮影開始。令和3年9月24日、DVD版5000枚納品。寄付者へ記念品として贈られる。別にブルーレイ版300枚制作、1,000円で頒布。記念式典において、制作した2本の映像作品を上映。

事業	事業の内容<担当委員会/委員長>	実施日/会場	備考
文化事業	<p>校歌楽譜贈呈式 <事業委員会/林昇委員長></p> <p>創立100周年記念講演会 平田オリザ氏「いま求められるコミュニケーション能力と新しい学び」 <記念式典委員会/矢野貴直委員長></p> <p>『長野県伊那北高等学校創立100周年記念講演会の記録 平田オリザ氏—いま求められるコミュニケーション能力と新しい学び—』 <記念式典委員会/矢野貴直委員長> 創立</p> <p>100周年記念「薫ヶ丘美術展」 <美術展委員会/竹中俊委員長></p> <p>『創立100周年記念「薫ヶ丘美術展」作品集』 <美術展委員会/竹中俊委員長></p> <p>創立100周年記念吹奏楽部コンサート <事業委員会/林昇委員長></p> <p>創立100周年記念コンサート <事業委員会/林昇委員長></p>	<p>令和2年9月4日/ 学校小体育館</p> <p>令和4年4月16日/ 長野県伊那文化会館大ホール</p> <p>令和3年6月16-20日/ 長野県伊那文化会館展示ホール</p> <p>令和3年7月22日</p> <p>令和4年6月5日/ 長野県伊那文化会館大ホール</p> <p>令和4年7月13日/ 長野県伊那文化会館大ホール</p>	<p>* 日本フィルハーモニー交響楽団に制作を依頼。富澤裕氏が編曲した校歌のピアノ伴奏譜・吹奏楽譜・オーケストラ譜が日本フィルから贈呈された。平澤真希氏がピアノ伴奏譜を初演し、合唱部が混声四部合唱。合唱譜編曲は兒玉智紀教諭。</p> <p>* クロスベニアアカデミー開校式に引き続き、平田オリザ氏の記念講演と生徒との質疑応答が行われる。生徒・教職員全員と同窓会・PTA 関係者約800名が参加。伊那ケーブルテレビ制作の番組が後日放映された。</p> <p>* 講演と質疑応答を文字起こし、生徒の感想も加えて令和4年9月1日に『薫ヶ丘ブックレット』第1号として刊行。1500部印刷して関係者（生徒・教職員を含む）や図書館等へ配付。</p> <p>* 国内外の同窓生、美術部生徒に呼びかけ、96名から99作品を展示。全校生徒共同制作「開眼立志（彩）」と美術部共同制作「百年の大樹」も会場を彩る。美術展創始者の故小林修一郎氏の呼び掛けに応じて、「作品集」が刊行される。300部印刷。出品者へ贈呈するとともに、1,000円で頒布。</p> <p>* 当初計画していた市民向けコンサートに替え、吹奏楽部の定期演奏会に日本フィルのトランペットソリストを招いた特別ステージとして一般に公開。入場者数約800名。日本フィルソリストが来校して吹奏楽部へ2回の事前指導が行われた。</p> <p>* 本校吹奏楽部・合唱部・弦楽部の生徒と日本フィルによる共演。「トランペット協奏曲」（第1部）、「Veni Sancte Spiritus」（第2部）、「展覧会の絵」（第3部）、「校歌」（オーケストラ譜初演）が演奏される。入場者数1240名。伊那ケーブルテレビ制作の番組が後日放映された。</p>

事業	事業の内容<担当委員会/委員長>	実施日/会場	備考
スポーツ事業	創立100周年記念ゴルフ大会 <事業委員会/御子柴茂樹実行委員長>	令和4年7月18日/ 信州伊那国際ゴルフクラブ	*「30人以上を一箇所に集めない」というゴルフ場からの指示に従い、ハーフでハンディキャップを付けて順位を決め、競技が終了した方から帰るという方法を採用。ドラコン・ニアピン・学年対抗等を実施できなかったが、247名の参加者を得て同窓生の親睦を深めた。
記念式典事業	伊那北高校創立100周年記念式典 <記念式典委員会/矢野貴直委員長> 『創立100周年記念式典記念誌』 <刊行委員会/村田寿雄委員長>	令和3年10月9日/ 長野県伊那文化会館大ホール	* 来賓・同窓生・生徒教職員約500名参加（コロナ禍のため、生徒教職員の参加は任意）。この日のために制作した映像作品「伊那北高校創立百周年」写真は語る 薫ヶ丘100年の軌跡「伊那北生の今」を上映。式典の最後には合唱部と吹奏楽部による校歌演奏（吹奏楽譜初演）。映像と音楽を駆使した式典となる。伊那ケーブテレビ制作の番組が後日放映された。 * 創立100周年記念式典に併せて編集発行された。「写真で綴る伊那中学校・伊那北高等学校の100年」「創立100周年記念事業の経緯」「創立100周年記念事業」「寄付者芳名簿」等からなる本文36頁オールドカラー印刷の冊子。5,600部印刷し、記念品としてDVD（映像作品）とともに寄付者へ贈呈された。
記念祝賀会事業	伊那北高校創立100周年記念祝賀会 <祝賀会委員会/伊藤仁委員長>	中止	* 当初、令和2年10月10日に伊那セミナーハウスを会場にして祝賀会を計画したが、コロナ禍により令和3年10月9日（JA上伊那フワワーパレス）へ延期される。さらに令和3年6月26日、実行委員会役員会で「コロナ禍により飲食を伴う記念祝賀会を断念せざるをえない」という判断が下された。
頒布品事業	伊那北高等学校創立100周年記念特別酒		* 上伊那地域の8蔵で醸造されている日本酒の詰め合わせ（「今鏡」「岸の松」「仙醸」「井の頭」「信濃鶴」「夜明け前」「大國」「信濃錦」。うち7蔵が本校に縁の蔵元。300mlビンの首には創立100周年のロゴマークをあしらったシールを貼る。

	<p>白井吉見「邂逅の碑」 拓本額装</p>		<p>約 500 本を頒布。 * 白井の仙丈の歌を刻んだ「邂逅の碑」拓本を額装して希望を募った。見本に制作した作品は伊那薫ヶ丘会館 1 階和室床の間に飾られている。</p>
--	------------------------	--	---

